

# 言語比較

Dec. '05: I.Nishida

	ドイツ語	英語	日本語	エスペラント語
祖語	IE (~BC10)	IE (~BC10)	?	人工言語
基語	高地ドイツ語 低地ドイツ語	低地ドイツ語系 ゲルマン語30% ローマン語55%	ヤマト言葉 漢語 外来語	1887年、ユダヤ系ポーランド人、ルドヴィコ・ザメンホフが発表
発音(音素、音価)	母音 17 (単母音、変母音、重複母音など)	母音 15	母音 5 (古代8母音)	日本語と同じ5母音
単語の発音	子音 34  「有声/無声」子音で終わるもの多し	子音 24	子音 19 (「じ/ぢ」、「づ/ず」の区別) (外来語の発音(ex: टीम、ファッション)の影響)	
文字、綴り、読み	ラテン文字 26字+変母音字(ä, ö, ü)  表音綴り  単語間連音(リエゾン) ほとんどなし (Brot und Butter)	ラテン文字 26字  綴りと読み音が異なるもの多 (enough, head, people)  若干あり (Bread and butter)	ひらがな、カタカナ、漢字  かな — 一字一音 漢字 — 表意文字  モーダルあり (「美容院/病院」、「東南/盗難」、「健一/ケニチ」)	28字 (q,w,x,yはなし、s^, g^, c^, h^, U^あり)  一字が一音に対応
名詞				
性	男性、女性、中性	北欧バイキングの侵入で、屈折、性の混乱 AD13には性は消滅	(女性的な丁寧語あり)	
数	単数、複数(性と呼応する)	単数、複数 (he, she, it の複数形は they)	基本的には複数形の語形なし  (あいまい)	単数、複数あり (複数は、単数+ j、抽象名詞、物質名詞は単複同形)
格 (名詞の他の話に対する資格)	主格、属格、与格、対格	主格、所有格、目的格 (語尾変化が消滅して、主格、与格、対格が同じ形になり目的格となった)		主格、対格(目的格)
冠詞、(adj)などの修飾語	性、数、格に呼応して変化する		冠詞なし、(adj)は複雑な語尾変化あり	
文型	基本的には、S+V+O (柔軟性あり)  (伊語では、V+O形式あり)	S+V+O の統語性強し	助詞による結合: → 膠着語 基本は、S+O+V (自明の時、Sの省略多し: 「ああ、いい天気だ」) (一文に二つのSがありうる: 「象は鼻が長い」)	基本的には、S+V+O 語順は日本語のように比較的 自由 無主語文あり。(動詞でSが分かる)